

実施事業報告

事業名	ひなた村×つるっこ ドラム缶で焼くピザづくり
目的	・調理の楽しさを伝え、自分で作る喜びと食べ物に対する理解を深める ・ドラム缶を使い、本格的なピザが焼けることを知る ・子ども創造キャンパスひなた村に協力していただき、普段できない体験を提供する
日時	6月30日(日) 10時15分～13時
主な対象と参加者数	小学生～18歳 20名
講師・協力者等	子ども創造キャンパスひなた村
内容	・ピザ生地づくり ・ドラム缶窯でのピザ焼き体験
様子等	・ひなた村にご協力いただき、つるっこで初めて実施しました。子どもたちに人気のピザということもあり、定員を超える申し込みがありました。 ・生地作りでは、混ぜたり、こねたりの作業を、小学6年生男子も含めとても楽しそうに取り組んでいました。 ・包丁で材料を切ること、窯に火をつけるためにマッチをすることなど、初めて体験する参加者も多く、恐る恐るやってみようとする子どもたちの顔は真剣そのものでした。子どもたちの生活力を育てる良い機会となりました。 ・体験する内容が多く、想定より時間を要し、終了時間が延びてしまいました。参加者や保護者からはとても好評であったため、今回の課題を生かして次回も実施したいと考えています。

事業名	ふあんふあん水遊び
目的	・水に触れ、夏ならではの遊びを楽しむ ・水遊びをとおして親子であそぶ楽しさを知る
日時	① 7/18(木)午前 10 時 30 分～11 時、11 時～11 時 30 分 ② 9/5(木)午前 10 時 30 分～11 時、11 時～11 時 30 分 (①②いずれも完全入れ替え制・二部制)
主な対象と参加者数	0 歳～未就学児とその保護者 ① 7/18(子:32 名、保:27 名、計 59 名)、②(子:24 名、保:24 名、計 48 名)
講師・協力者等	共催:鶴川地域子育て相談センター(職員 2 名)
内容	・タライに張った水や噴水マットで遊ぶ ・カップやジョーロで水をすくったり、かけたりして遊ぶ
様子等	・7 月と 9 月に 1 回ずつ、乳幼児向けの水遊びを子育て相談センターと共催で実施しました。7 月は記録的な暑さが続き、熱中症警戒アラートが発表される日も多くありましたが、アラートの発表もなく、実施することができました。 ・今年度は、暑さ対策として、短時間で水遊びを楽しんでいただくために、完全入れ替え制で実施しました。 ・始まる前や後には子どもだけではなく、保護者にも水分補給を行うよう声掛けをしました。実質 20 分くらいの水遊び時間だったこともあり、体調不良者が出ることなく、無事に終了することが出来ました。 ・水遊びでは、水が噴き出す噴水マット、たらい、ウォーターマットを設置し、お子さんの様子に合わせて遊び方が選べるように工夫しました。 ・初めて噴水マットで遊ぶ子も多く、中には泣き出してしまう子もいましたが、慣れてくると楽しそうに水面をたたいたり、カップで水をすくったりしながら遊ぶ姿も見られました。 ・7 月開催時は、幼稚園が夏休みに入っていたこともあり、4・5 歳児も数名参加してくれました。幼稚園児たちはだんだんテンションがあがり、水鉄砲やジョーロでダイナミックな遊び方を始めてしまい、声掛けをする場面もありました。 ・9 月は 7 月に参加して下さった親子や、初めて参加して下さった方も多く、0・1 歳児がほとんどでした。たらいから水をすくってかけたり、親子一緒にジョーロで水をかけて遊んだりとまったりと楽しんでいました。

事業名	鶴涼祭
目的	・来館者に楽しい時間を提供する。 ・たくさんの人につるっこ子ども委員会の活動を知ってもらう。 ・子ども委員会のメンバーが、主体的に、力を合わせてイベントの企画・準備から実施までを行うことで、達成感を味わい、団結力を高める。
日時	2024 年 8 月 4 日(日) 午後 1 時～4 時 30 分
主な対象と参加者数	対象:どなたでも 参加者数:486 名
講師・協力者等	鶴川第一地区委員会、つるっこ応援し隊、鶴川地区青少年委員 子ども委員 OB、野津田高校ユニバーサルスポーツ同好会、つながる町だふぁみりー 町田市市民生活安全課・町田総合高校生、鶴川地域子育て相談センター 地域・学生ボランティア
内容	①おばけやしき ②ペットボトル風鈴作り ③スタンプラリー ④ドッジボール ⑤タココプター作り ⑥ヨーヨー釣り ⑦体力測定 ⑧交通安全啓発ワークショップ ⑨ユニバーサルスポーツ体験 ⑩乳幼児コーナー ⑪キラキラタイム ⑫模擬店
様子等	【各コーナーの様子】 ①おばけやしき:220人を超える入場がありました。例年より怖かった、楽しかった等様々な感想が聞かれました。 ②風鈴作り:ペットボトルをマスキングテープなどで装飾して作る風鈴。好評で145名の参加がありました。 ③スタンプラリー:館内5か所を巡るラリー。スタート&ゴールが混雑する時間帯がありました。景品は光るブレスレットが人気でした。 ④ドッジボール:参加が46名と賑やかでしたが、皆ルール説明等をよく聞き、進行はスムーズでした。プレーしている子どもたちも、コート外の見学者も楽しそうでした。 ⑤タココプター作り:青少年委員さんによる工作コーナー。何度も遊ぶうちに上達して滞空時間が長くなり、嬉しそうな笑顔も見られました。 ⑥ヨーヨー釣り:無料で参加でき、結果に関わらず皆1つもらえました。地域・学生ボランティアさんとのコミュニケーションも楽しそうでした。 ⑦体力測定:握力・反復横跳び・長座体前屈・上体起こしの4コーナー。参加賞が何かあるとより楽しんでもらえるのでは…とのアイデアが子ども委員内ででていました。 ⑧交通安全啓発ワークショップ:交通安全クイズと反射板づくり。反射材のキーホルダーに自由に色を塗り持ち帰ることができ、皆、とても嬉しそうでした。町田総合高校生も活躍していました。 ⑨ユニバーサルスポーツ体験:ボッチャ等の体験。高校生が優しく教えてくれる様子を見て未経験者も気軽に参加し、ゲームを楽しんでいました。 ⑩乳幼児コーナー(おもちゃすくい):ビニールプール内のカプセルをすくうゲーム。おもちゃや駄菓子がもらえて、好評でした。 ⑪キラキラタイム:手作り舞台で演じる、夏にぴったりのおはなしのペープサート等。賑やかなイベントの中で、ほっと一息おはなしの世界を楽しめる時間でした。 ⑫模擬店:かき氷・ラムネ飲料・駄菓子等の販売コーナー。駄菓子は、子ども委員のリクエストをもとに品ぞろえし、喜ばれていました。

事業名	子ども委員親睦会
目的	子ども委員同士の親睦を深めるとともに、今後の子ども委員会の活動についてアイデアを出す機会とする。
日時	①バーベキュー 2024年8月18日(日) 午後3時30分～6時 ②宿泊 2024年9月15日(日) 午後2時～16日(月・祝) 午前11時
主な対象と参加者数	対象:子ども委員会登録者とOB・OG 参加者数:①小学生3名 中高生6名 OB・OG3名 ②小学生2名 中高生8名 OB・OG2名
内容	①つるっこ屋上『らびゅた』でのバーベキュー ②Nature Factory 東京町田(大地沢)での宿泊
経緯	・昨年度の子ども委員会活動時に今後の活動について意見を出し合う中で、通常の活動時間はイベント準備に追われがちで、委員同士の親睦を深めたり、ゆとりをもって企画のアイデア出しを行う時間が持てないため、2024年度には親睦会を行いたいとの意見があがった。 その後の活動内で委員会の希望としてまとまったため、中高生とOB・OGを中心に準備を進め、実施に至った。
様子等	①バーベキュー ・当日は良い天気でバーベキュー日和。日よけの為にワンタッチタープを設置しましたが、気持ちの良い風が吹き始め途中で不要になりました。 ・買い出し担当者は午後2時に集合し、近隣スーパー等で買い出し。屋上ではバーベキューグリルの準備をして開始時間を迎えました。 ・中高生、OB・OGが積極的に食材の準備を行ったり、皆が食べたいものを食べられているか気を配っている様子が見られました。 ・普段はあまり活動に使わないつるっこの一番高い場所で、皆でバーベキューを楽しむことができて、嬉しそうでした。 ・バーベキュー中よりも、買い出しの道中や、食材準備、片付けなどの作業をしている時に、今後の活動に向けてのアイデアや日頃の活動を通して感じている事などの話が出ていました。 ②宿泊 ・前日までに、夕食と朝食の献立と購入する食材リストを作成。当日買い出し担当は出発時間の1時間半前に集合し、近隣スーパーまで買い出しに行きました。 ・つるっこ、大地沢間は送迎バスでの移動だったため、車内でゲームをしたり写真を撮ったりと往復の時間も楽しんでいました。 ・皆、自分にできることはやりたいと参加意識が高かったのですが、食事の準備片付け共に、限られたスペースで限られた人数で担当することになってしまいました。「もし次があったら、ああしよう。」「こういうメニューならみんなが関われるのでは…」と、改善案があがっていました。 ・自由時間には皆で卓球やバドミントンを楽しんだり、散策やゲーム、花火をしたりと、常に仲良く過ごす姿が見られ、微笑ましかったです。 ・ケガや体調不良、トラブルもなく、全員元気に帰着。「来年も行きたい!」との声が多く聞かれました。 ・「あにばーさりい20には、くす玉を準備したい。」など、アイデアもいくつか上がってきたため、今後の活動で深めていく事になりました。

事業名	まちだ若者大作戦「まちだユースシアター」 ～ひととのちがいをたのしもう！～
目的	・「子どもにやさしいまちはだれにとってもやさしいまち」の実現に向け、子ども・若者自らの力で“やりたい”ことを成し遂げる。 ・劇場ではない身近な子どもセンターで実施することで、参加するハードルを下げ、演劇の世界に飛び込みやすくする。 ・演劇をみんなで作るワークを通じて、自分と他人との違いを楽しく学ぶことができる。
日時	10月13日(日)午後1時30分～3時30分
主な対象と参加者数	・演劇上演会:どなたでも観劇可 40名 ・ワークショップ:小学生以上 6名(未就学1名)
講師・協力者等	桜美林大学 合唱寸劇水戸黄門 23名 桜美林大学 学生劇団 ㊿SCAPE-GOAT 2名
内容	・演劇上演会「合唱寸劇水戸黄門」 ・演劇ワークショップ「だるまさんがころんだ」「自己紹介」「白い紙に地図を書いていきたいところに行ってみよう」
様子等	・水戸黄門のストーリーの中に歌あり、ダンスあり、クイズあり、笑いありのバリエーション豊富で引き込まれる45分間でした。 ・乳幼児の親子の観劇も多くありましたが、途中で飽きて退場することもなく、保護者の膝の上で拍手するなどして参加していました。 ・ワークショップは6名が参加、最初、みんなの知っている「だるまさんがころんだ」で緊張をほぐし、次に自分で呼んで欲しい名前を好きな食べ物と合わせて自己紹介をしました。 ・その後、2つのグループに分かれて、模造紙に好きな絵を描いていき、地図にしました。地図を見ながら、どこに行きたいかを考え、実際にマントをつけ、地図の中に遊びに行くという即興劇を行いました。参加した小学生から、柔軟性と想像力豊かな様子が見られました。